

平成29年度 社会福祉推進事業 「介護分野における技能実習制度の  
標準的な教育プログラムに関する調査研究事業」

# 技能実習制度 (介護職種) 入国後講習用教材

平成30年1月  
一般社団法人シルバーサービス振興会



## はじめに（監理団体の皆様へ）

平成29年11月1日に「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」が施行され、新たに介護職種が追加されることとなりました。介護職種においては告示にて、技能実習生の入国後講習として日本語科目と技能等の習得等に資する知識の科目の受講が求められ、それらの講習は監理団体（企業単独型の場合は申請者）が実施するものとされています。

この講習用教材（以下、「教材」という。）は、当会が厚生労働省より受託した平成29年度社会福祉推進事業の調査研究として、告示で示された技能等の習得等に資する知識の科目の教育内容を具現化したものです。教育内容に含まれるべき事項は「介護職種について外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則に規定する特定の職種及び作業に特有の事情に鑑みて事業所管大臣が定める基準等」について（通知）を参考として、技能実習生が介護職として働く前に知っておいてほしい「介護の仕事」について学習できるよう作成しました。

内容は技能実習生が理解しやすいよう、「介護の仕事を支える考え方」と「介護の仕事に必要な知識と技術」の二部構成とし、全体的にイラストを多く使い、平易な日本語を使用し、漢字にはすべてふりがなを付しています。また、介護の現場でよく使用する専門用語、体の名称、疾病や症状等については、入職後も困らないようにあえて漢字表記としています。「介護の仕事に必要な知識と技術」では、介護の根拠や思考過程を理解してもらうため、まずは生活行為の意義、環境、体や姿勢の名称、必要な物品等を学習したうえで、介護技術を学べるような構成としています。

なお、この教材は、告示・通知で示されている内容をもとに、技能実習生にとって理解しやすい表現になるよう工夫しています。「本書の使い方」に、告示・通知で示された教育内容と教材の対照表を掲載していますのでご参照ください。今後、監理団体の皆様が、この教材を入国後講習の教材としてご活用いただくことにより、技能実習生が介護の仕事の理解を深められるよう、期待しております。

平成30年1月

一般社団法人シルバーサービス振興会

## 1. 教材の対象者

この教材は、監理団体の皆様が介護の技能実習における入国後講習を行う際に、「技能等の習得等に資する知識の科目」でご活用いただける教材です。これから介護職として働く技能実習生が使用することを想定して作成しています。

## 2. 教材の目的

この教材は、告示・通知にて示された教育内容とそれに含まれるべき事項を、調査研究をもとに検討した標準的な内容の教材になります。技能実習生の前職や知識にあわせて、監理団体に適宜内容を補う等してご活用いただけます。

## 3. 教材の特徴

この教材に出てくる言葉は、日本語能力検定N4程度の技能実習生でも理解しやすいよう、できるだけ平易な日本語で表現する等の工夫をしています。ただし、介護の現場でよく使用する専門用語、体の名称、疾病や症状等については、入職後に困らないようあえて漢字表記としています。

また、技能実習生に日本の介護のイメージが湧くよう、イラストを多用する工夫をしています。

## 4. 教材の構成

この教材は二部構成となっており、Part 1「介護の仕事を支える考え方」とPart 2「介護の仕事に必要な知識と技術」に分類しました。まずPart1では、介護職はどのような人たちを支援するのか、何を大切にしなければいけないのかという、介護を行ううえでの考え方について学習します。Part 2では、告示で示された介護の内容ごとに、介護の仕事に必要な知識と技術を学習していきます。

告示・通知で示された教育内容とそれに含まれるべき事項が、この教材においてどの部分に該当するか対照表を作成しておりますので、ご参照ください。

### <入国後講習「技能等の習得等に資する知識の科目」の教育内容について>

告示：教育内容	通知：教育内容に含まれるべき事項	時間数
介護の基本Ⅰ	介護職の役割、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全、介護過程、介護における尊厳の保持・自立支援	6
介護の基本Ⅱ	からだのしくみの理解、介護を必要とする人の理解（老化の理解、認知症の理解、障害の理解）	
コミュニケーション技術	コミュニケーションの意義と目的、コミュニケーションの基本的技法、形態別コミュニケーション	6
移動の介護	移動の意義と目的、基本的な移動の介護（体位変換、移動（歩行、車いす移動等））、移動介助の留意点と事故予防	6
食事の介護	食事の意義と目的、基本的な食事の介護、食事介助の留意点と事故予防	6
排泄の介護	排泄の意義と目的、基本的な排泄の介護（ポータブルトイレ、便器・尿器、おむつ等）、排泄介助の留意点と事故予防	6
衣服の着脱の介護	身じたくの意義と目的、基本的な着脱の介護、着脱介助の留意点と事故予防	6
入浴・身体の清潔の介護	入浴・身体の清潔の意義と目的、基本的な入浴の介護（特殊浴槽、チェアー浴、一般浴槽等）、入浴以外の身体清潔の方法（足浴・手浴、身体清拭）、褥瘡の予防、入浴・身体清潔の介助の留意点と事故予防	6

<告示で示された教育内容と教材の対照表>

告示：教育内容
通知：教育内容に含まれるべき事項

<b>介護の基本Ⅰ</b>
介護職の役割、介護職の職業倫理、介護過程、介護における尊厳の保持・自立支援
介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全
<b>介護の基本Ⅱ</b>
からだのしくみの理解 介護を必要とする人の理解 (老化の理解、認知症の理解、障害の理解)
<b>コミュニケーション技術</b>
コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの基本的技法 形態別コミュニケーション

<b>移動の介護</b>
移動の意義と目的 基本的な移動の介護 (体位変換、移動(歩行、車いす移動等)) 移動介助の留意点と事故予防
<b>食事の介護</b>
食事の意義と目的 基本的な食事の介護 食事介助の留意点と事故予防
<b>排泄の介護</b>
排泄の意義と目的 基本的な排泄の介護 (ポータブルトイレ、便器・尿器、おむつ等) 排泄介助の留意点と事故予防
<b>衣服の着脱の介護</b>
身じたくの意義と目的 基本的な着脱の介護 着脱介助の留意点と事故予防
<b>入浴・身体の清潔の介護</b>
入浴・身体の清潔の意義と目的 基本的な入浴の介護 (特殊浴槽、チェアー浴、一般浴槽等) 入浴・身体清潔の介助の留意点と事故予防 入浴以外の身体清潔の方法 (足浴・手浴、身体清拭) 褥瘡の予防

教材の目次
<b>Part 1 介護の仕事を支える考え方</b>
<b>Chapter 1 介護の基本Ⅰ (介護で大切なこと1)</b>
1 介護の考え方
<b>Chapter 2 介護の基本Ⅰ (介護で大切なこと2)</b>
1 介護事故の予防 2 感染症の予防 3 健康管理
<b>Chapter 3 介護の基本Ⅱ (利用者の理解)</b>
1 人間の体 2 老化(体の変化) 3 老化(病気と症状) 4 障害 5 認知症
<b>Chapter 4 コミュニケーション技術</b>
1 コミュニケーションの基本 2 利用者とのコミュニケーション 3 職員とのコミュニケーション

<b>Part 2 介護の仕事に必要な知識と技術</b>
<b>Chapter 1 移動の介護</b>
<移動の意義> 1 移動の介護に必要な知識 2 移動の介護の流れ
<b>Chapter 2 食事の介護</b>
<食事の意義> 1 食事の介護に必要な知識 2 食事の介護の流れ
<b>Chapter 3 排泄の介護</b>
<排泄の意義> 1 排泄の介護に必要な知識 2 排泄の介護の流れ
<b>Chapter 4 衣服の着脱(身じたく)の介護</b>
<身じたくの意義> 1 身じたくの介護に必要な知識 2 衣服の着脱の流れ
<b>Chapter 5 入浴・身体の清潔の介護</b>
<入浴の意義> 1 入浴の介護で知っておく知識 2 入浴の介護の流れ 3 入浴以外の体を清潔にする方法 4 褥瘡の予防

目次

はじめに（監理団体の皆様へ）…………… I  
 教材の使い方（監理団体の皆様へ）…………… II

Part1 介護の仕事を支える考え方…………… 1

**Chapter1** 介護の基本Ⅰ（介護で大切なこと1）…………… 2  
 ① 介護の考え方…………… 2  
**Chapter2** 介護の基本Ⅱ（介護で大切なこと2）…………… 6  
 ① 介護事故の予防…………… 6  
 ② 感染症の予防…………… 7  
 ③ 健康管理…………… 9  
**Chapter3** 介護の基本Ⅲ（利用者の理解）…………… 10  
 ① 人間の体…………… 10  
 ② 老化（体の変化）…………… 13  
 ③ 老化（病気と症状）…………… 14  
 ④ 障害…………… 16  
 ⑤ 認知症…………… 18  
**Chapter4** コミュニケーション技術…………… 20  
 ① コミュニケーションの基本…………… 20  
 ② 利用者とのコミュニケーション…………… 22  
 ③ 職員とのコミュニケーション…………… 24

Part2 介護の仕事に必要な知識と技術…………… 27

**Chapter1** 移動の介護…………… 28  
 <移動の意義>…………… 28  
 ① 移動の介護に必要な知識…………… 29  
 ② 移動の介護の流れ…………… 31  
**Chapter2** 食事の介護…………… 34  
 <食事の意義>…………… 34  
 ① 食事の介護に必要な知識…………… 34  
 ② 食事の介護の流れ…………… 37  
**Chapter3** 排泄の介護…………… 40  
 <排泄の意義>…………… 40  
 ① 排泄の介護に必要な知識…………… 41  
 ② 排泄の介護の流れ…………… 43

<b>Chapter4</b>	衣服 <small>いふく</small> の着脱 <small>ちやくだつ</small> （身 <small>み</small> じたく）の介護 <small>かいご</small> .....	46
	<身 <small>み</small> じたくの意義 <small>いぎ</small> > .....	46
	① 身 <small>み</small> じたくの介護 <small>かいご</small> で必要 <small>ひつよう</small> な知識 <small>ちしき</small> .....	47
	② 衣服 <small>いふく</small> の着脱 <small>ちやくだつ</small> の流れ <small>なが</small> .....	50
<b>Chapter5</b>	入浴 <small>にゅうよく</small> ・身体 <small>しんたい</small> の清潔 <small>せいけつ</small> の介護 <small>かいご</small> .....	52
	<入浴 <small>にゅうよく</small> の意義 <small>いぎ</small> > .....	52
	① 入浴 <small>にゅうよく</small> の介護 <small>かいご</small> で知 <small>し</small> っておく知識 <small>ちしき</small> .....	53
	② 入浴 <small>にゅうよく</small> の介護 <small>かいご</small> の流れ <small>なが</small> .....	55
	③ 入浴 <small>にゅうよく</small> 以外 <small>いがい</small> の体 <small>からだ</small> を清潔 <small>せいけつ</small> にする方法 <small>ほうほう</small> .....	58
	④ 褥瘡 <small>じよくそう</small> の予防 <small>よぼう</small> .....	59
索引 <small>さくいん</small>	.....	60



Part

1



かいごのしごと  
介護の仕事

ささかた  
支えるかんがえ方

# かいご きほん 介護の基本 I

## かいご たいせつ (介護で大切なこと 1)

### 1 かいご かんが かの 介護の考え方

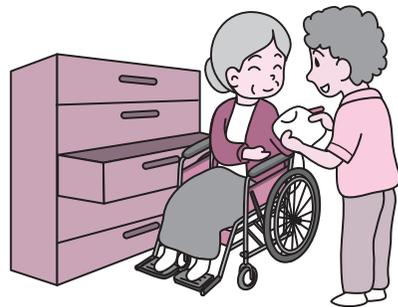
- かいご しょく りようしゃ とかかわるとき、「にんげん せんげん じりつしえん たいせつ」  
介護職は、利用者とかかわるとき、「人間の尊厳」と「自立支援」を大切にします。
- りようしゃ かいご しょく はたら しせつ かいご う ひと  
利用者は、介護職が働く施設などで、介護を受ける人たちです。
- かいご たいせつ りようしゃ しゅたい  
介護で大切なことは、「利用者主体」という考え方です。



- かいご しょく りようしゃ じょうたい み り  
介護職は、利用者の状態を見て、利  
用者が希望する生活を支援します。



- かいご しょく りようしゃ も ちから  
介護職は、利用者が持っている力を  
活かします。



#### ことば いみ 言葉の意味

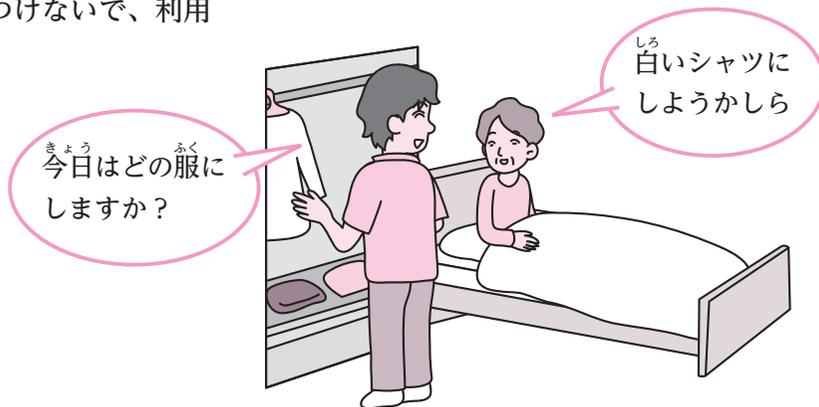
【活かす】……じょうずに使うこと

● 介護職は、利用者の尊厳やプライバシーを大切にします。

● 介護職は、「専門職がしなければならないこと」「利用者にとって何が一番よいか」を考えて行動します。

### 介護職に求められる行動

● 介護職の考えを押しつけないで、利用者を選んでもらう。



● プライバシーを守る。



● 利用者の情報を守る。

### 言葉の意味

【プライバシー】……他の人に知られたくないこと

【行動】……すること

【押しつける】……相手の意思を考えないで、させること

●介護職は利用者のできる力を使って、利用者に合った生活ができるように、次のような流れで介護をします。

## 介護の過程

●利用者の佐藤さんは、食事が食べられなくなっています。

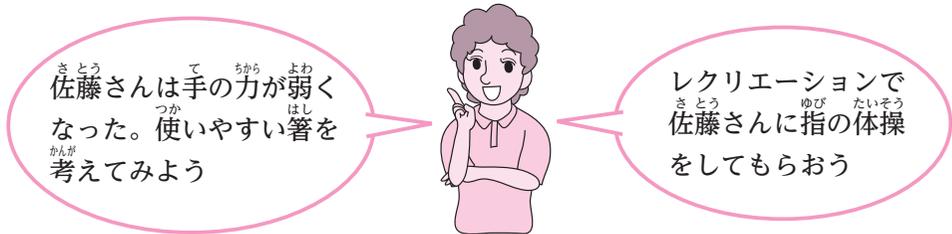


●介護職は、佐藤さんが食べられない理由を考えます。



●介護職は、佐藤さんに食べてもらうための介護の方法を考えます。

●介護の方法を考えると、佐藤さんを支援する他の職種の人たちにも相談します。



●介護職は、佐藤さんに食べてもらえるように、食事の介護をします。

●介護職は、食堂の環境や佐藤さんが食べる時の姿勢を整えます。

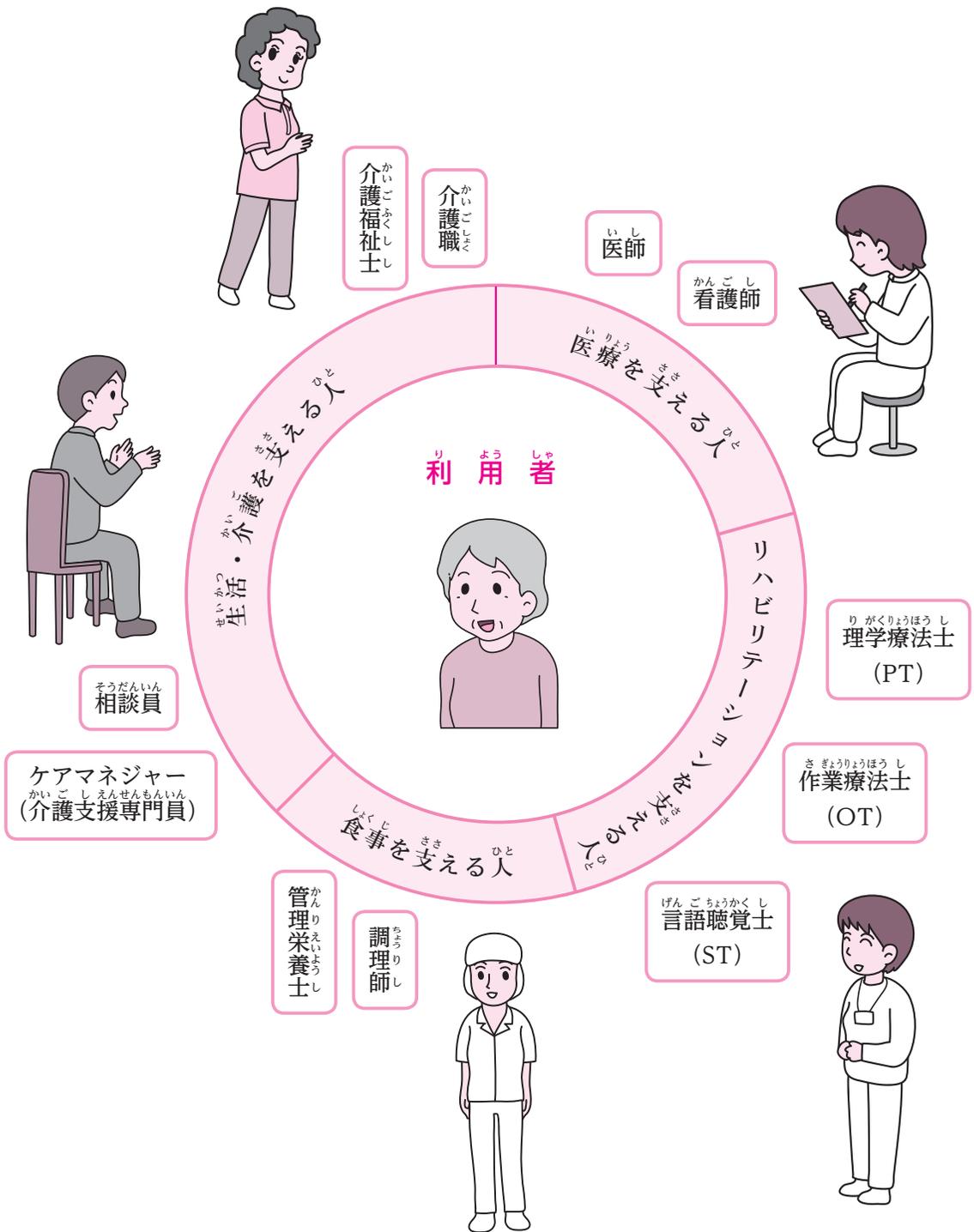


●介護職は、食事の介護をしたことで、佐藤さんが食べられるようになったかを確認します。

## 言葉の意味

【過程】……結果までの順序

りようしゃ しえん ひと  
利用者支援する人たち



# Chapter 2

# 介護の基本 I (介護で大切なこと 2)

## 1 介護事故の予防

- 利用者は体のいろいろなところが変化しているので、事故が起きやすいです。
- 事故が起きたときは、職員に報告します。
- 報告は、事故の予防になります。

### 利用者の事故の例

てんとう  
転倒



てんらく  
転落



やけど



ごえん  
誤嚥



### 言葉の意味

【誤嚥】……食べ物や飲み物が、気管に入ること

【職員】……いっしょにはたらく人

## 2 感染症の予防

- 感染症は、病原体が体の中に入り、いろいろな症状を起こす病気です。
- 感染症になると、発熱や下痢、咳などの症状が出たり、重い病気になったりします。

### 感染源の種類

たいえき  
体液



けつえき  
血液

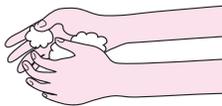


はいせつぶつ とぶつ によ べん  
排泄物（おう吐物、尿、便）

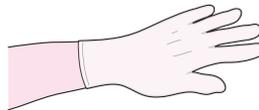


### 感染症を予防する方法

て あら  
手を洗う



つか す てぶくろ つか  
使い捨て手袋を使う



うがいをする



マスクを使う



エプロンを使う



- 感染症になると人にうつし、病原を広げてしまいます。
- 介護職は、感染症にならないように注意します。

### 言葉の意味

【感染症】……感染で起こる病気

【病原体】……病気の原因になるもの

【症状】……病気やけがの状態

【使い捨て】……一回使ったら捨てること

【感染】……病原体が体の中に入ること

【予防】……ならないようにすること

【感染源】……感染の原因になるもの

て あら かつ  
手の洗い方

① 指輪、時計をはずす



② 手をぬらす。流水で洗う



③ ためた水で洗わない



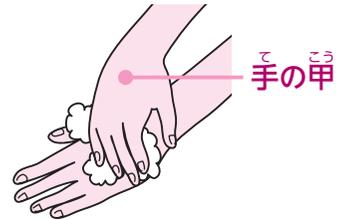
④ 石けんを手にとる



⑤ 手のひらを合わせてこする



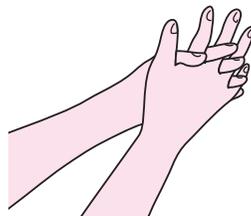
⑥ 手の甲を洗う



⑦ 指の先、爪の間を洗う



⑧ 指の間を洗う



⑨ ねじり洗いをする



⑩ 手首を洗う



⑪ 水で流し、ペーパータオルなどでふく

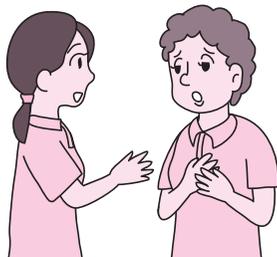


### けんこうかんり 3 健康管理

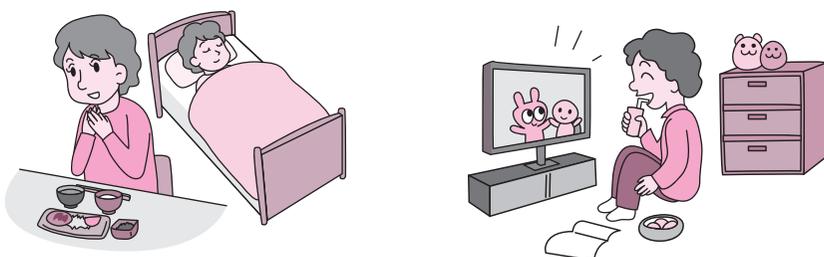
- 利用者<sup>りようしゃ</sup>によい介護<sup>かいご</sup>をするには、介護職<sup>かいごしょく</sup>は健康<sup>けんこう</sup>でなければなりません。
- 健康<sup>けんこう</sup>には、心<sup>こころ</sup>の健康<sup>けんこう</sup>と体<sup>からだ</sup>の健康<sup>けんこう</sup>があります。

#### けんこう こうどう 健康のための行動

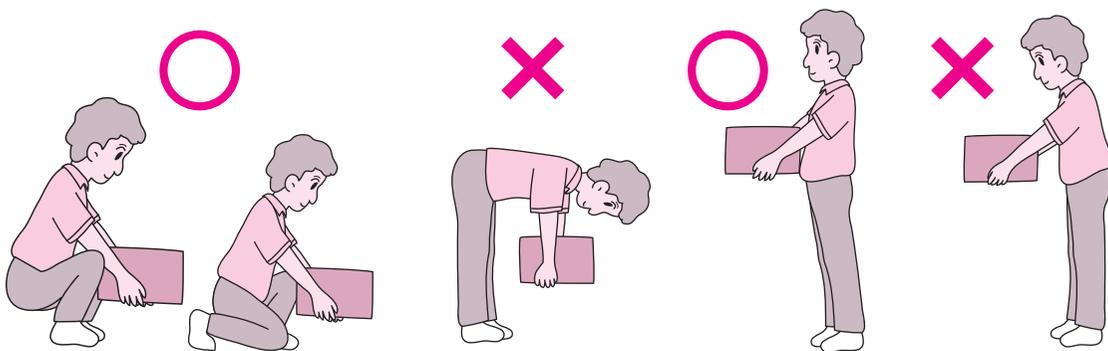
- 心<sup>こころ</sup>の健康<sup>けんこう</sup>のために、ストレス<sup>かん</sup>を感じたときは、他<sup>ほか</sup>の人<sup>ひと</sup>に相談<sup>そうだん</sup>します。



- 体<sup>からだ</sup>の健康<sup>けんこう</sup>のために、食事<sup>しょくじ</sup>と睡眠<sup>すいみん</sup>と休養<sup>きゅうよう</sup>が大切<sup>たいせつ</sup>です。



- 介護職<sup>かいごしょく</sup>は腰痛<sup>ようつう</sup>になりやすいので、気<sup>き</sup>をつけます。
- 腰痛<sup>ようつう</sup>にならないように、ボディメカニクス<sup>ふくしよく</sup>や福祉用具<sup>つか</sup>を使います。



#### ことば いみ 言葉の意味

【健康管理】……健康な状態<sup>けんこう じょうたい</sup>でいられるようにすること

【ボディメカニクス】……人間<sup>にんげん</sup>の体<sup>からだ</sup>の使い方<sup>つか</sup>や動かし方<sup>かた</sup>のこと

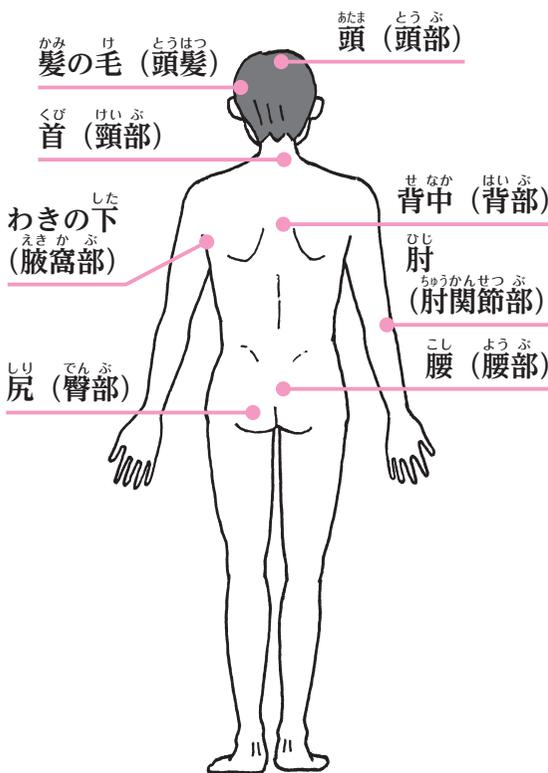
# Chapter 3

# 介護の基本II (利用者の理解)

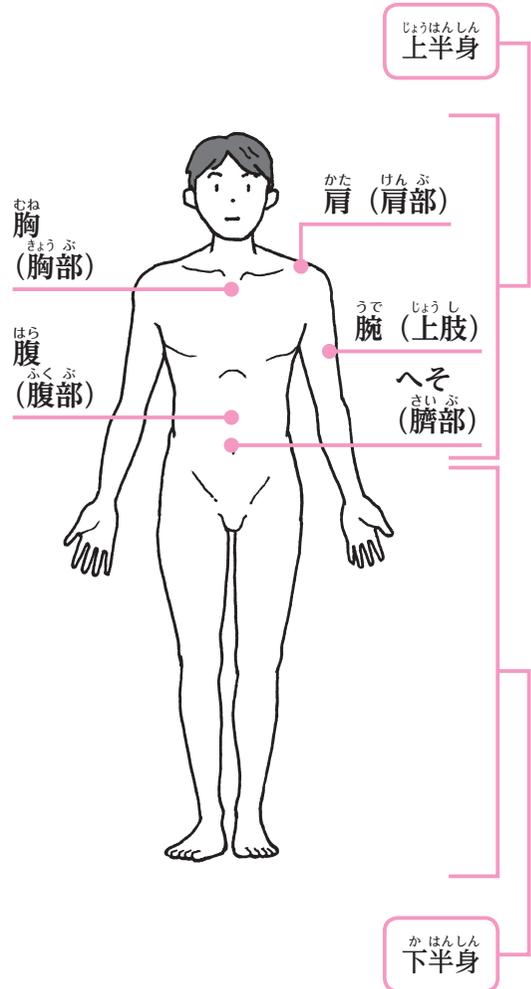
## 1 人間の体

● 介護をするためには、人間の体のつくりを知ることが大切です。

うしろ  
後



まえ  
前

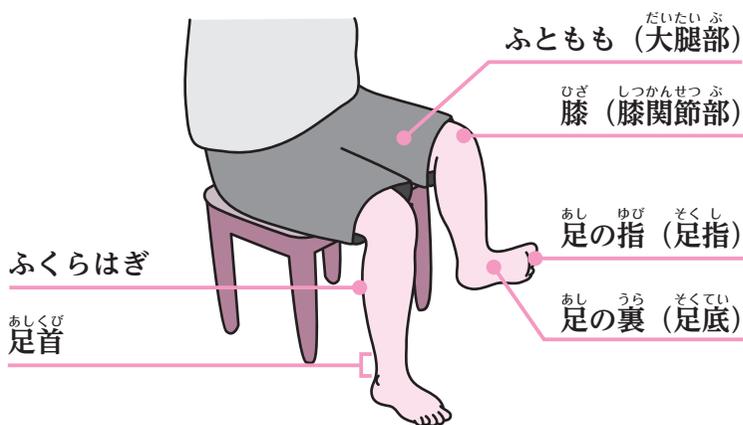


- 人間の体には、動くところと、動かないところがあります。
- 関節、首、腰は動きます。
- 関節は、肩、肘、手首、手の指、膝、足首、足の指にあります。
- 関節は、一つひとつ動く範囲や動き方が違います。

## て 手



## あし 足



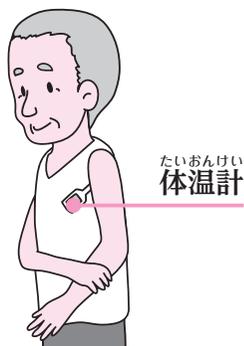
## ことば いみ 言葉の意味

【範囲】……どこからどこまでと、決められた広さ

# バイタルサイン

- 体温、血圧、脈拍、呼吸、意識など、人間が活着ていることがわかるサインを、バイタルサインと言います。
- バイタルサインで利用者の体調を確認します。
- バイタルサインの測定値は、利用者の年齢や状態によって違っています。

## 体温



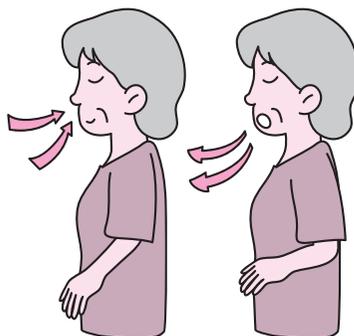
## 血圧



## 脈拍



## 呼吸



## 意識

- ・目が覚めている状態
- ・自分の今の状態や、周りの状況が正しくわかっている状態

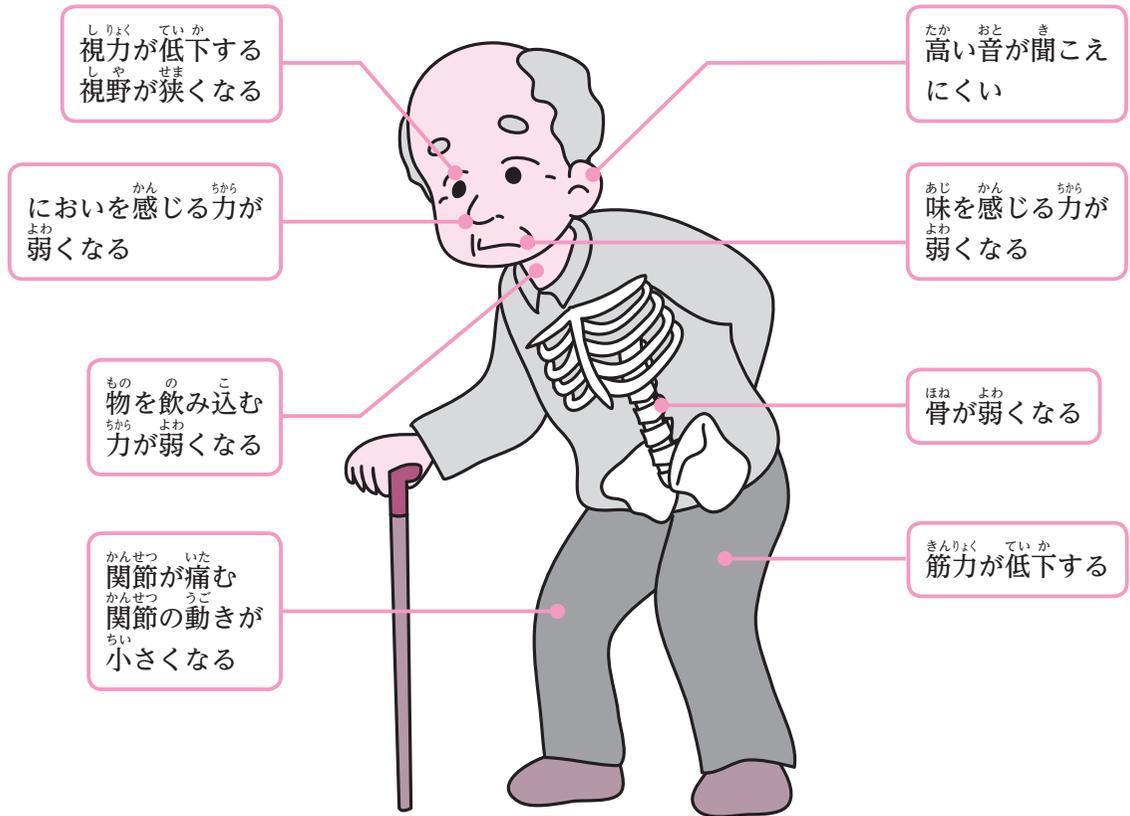
## 言葉の意味

【測定値】……測ってわかる量や大きさ

【状況】……時間と一っしょに、変わる様子

## 2 老化 (体の変化)

- 年をとると、体のいろいろなところに変化が起きます。
- 体の変化は、人によって違います。



### 言葉の意味

【変化】…… 変わること

【視力】…… 物を見る目の力

【視野】…… 見える範囲

【低下】…… 弱くなること

### 3 老化 (病気と症状)

●年をとると、病気になることが多くなります。介護職は、病気と症状の特徴を理解します。

#### 高齢者の病気と症状の特徴

- 病気の症状が人によって違います。
- 病気になったことがわかりにくいです。
- 病気が慢性化することが多いです。

#### 高齢者に多い病気

##### のうけっかんしっかん 脳血管疾患

脳の血管の病気。脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など



脳の病気になると、片麻痺になることがあります。

##### しんしっかん 心疾患

心臓の病気。狭心症、心筋梗塞など



##### はいえん 肺炎

病原体が肺の中に入って起こる病気



#### 言葉の意味

【特徴】……他と比べて、よくわかること

【慢性化】……あまりひどくはないが、治りにくく、長く続くこと

## 高齢者に多い症状

### 便秘

便の出る回数や量が減って、腸に便がたまること



### 頻尿

尿の出る回数が増えること



### 脱水症状

体の中の水分が足りない状態



### 貧血症状

血液状態が悪くなるため、疲れたり、めまいがしたりする状態



### 言葉の意味

【量】……どのくらい

【減る】……少なくなること

## しょうがい 4 障害

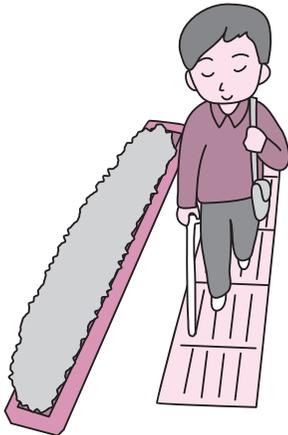
- 介護職は、利用者の気持ちを理解して、利用者が自立して生活ができるように支援します。
- 介護職は、障害の特徴に合わせて介護します。



### しょうがい しゅるい れい 障害の種類例

#### しかくしょうがい 視覚障害

め み み  
目が見えない（見えにくい）



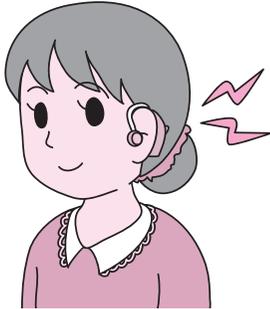
#### したいふ じゆう 肢体不自由

びようき て あし しょうがい  
病気・けがで、手や足などに障害がある



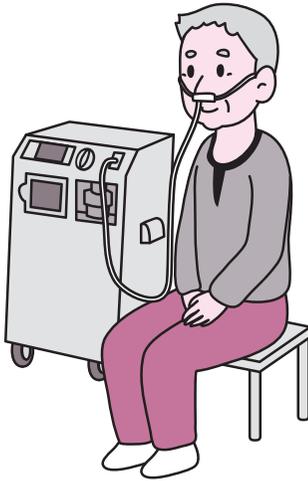
ちょうかく げんごしょうがい  
**聴覚・言語障害**

きく、はなす、よむ、かかるとなでこまることが  
おおい



ないぶしょうがい  
**内部障害**

からだなかのぞうきしょうがい  
体の中の臓器に障害がある



ちてきしょうがい  
**知的障害**

ちのうはったつおく  
知能の発達に遅れがあり、生活をすることに  
ふじゆう  
不自由がある

せいしんしょうがい  
**精神障害**

きもちがくらくなくて、なに  
じぶんかんがきもちをじょうずにあらわ  
なで

## 5 5 認知症

- 認知症は、脳の機能が障害され、認知機能が低下する病気です。
- 認知機能は、記憶する、考える、判断するなどの脳のはたらきのことです。
- 認知症の症状には、中核症状と周辺症状があります。

### 脳の障害で起こる症状 (中核症状) の例

聞いたことをすぐ忘れてしまう



時間がわからない



場所がわからない



人がわからない



### 言葉の意味

【認知】……わかること

【機能】……できること

【記憶する】……覚えること

【判断する】……よいかどうか決めること

## かんきょう お しょうじょう しゅうへんしょうじょう れい 環境などで起こる症状（周辺症状）の例

- （自分がある場所がわからなくて）あるまわ  
歩き回る
- いない人が見える
- 気持ちが暗くなって、何もできなくなる
- 食べ物ではないものを食べる

## かかわるときに注意すること

- 介護職は、利用者の表情や行動を見て、言葉を聞いて、利用者の気持ちを考えます。
- 利用者ができないときや、失敗したときに怒ると、認知症の症状はもっと悪くなります。

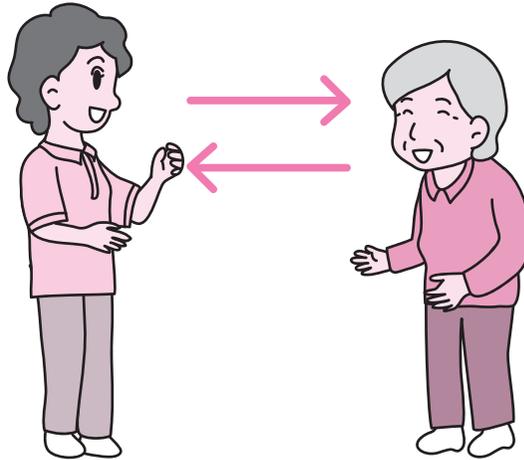


# Chapter 4

# コミュニケーション ぎじゆつ 技術

## 1 コミュニケーションの基本

- 利用者りようしゃのことを知るしために、コミュニケーションたいせつは大切です。
- 介護職かいごしやくはコミュニケーションで、利用者りようしゃの希望きぼうやできることを理解りかいします。
- 介護職かいごしやくは、利用者りようしゃの話はなしをよく聞いて、受け止うめます。

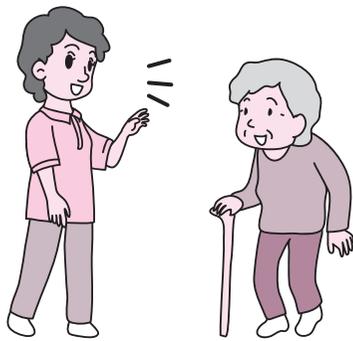


### コミュニケーションで気きをつけること

- 利用者りようしゃの名前なまえを呼よびます。



●利用者の正面から話します。



●介護職の目と利用者の目を、同じ高さにして話します。



## かくにん き 確認するときには気をつけること

●介護の現場では「確認する」をよく使います。

●介護の現場で使う「確認する」にはいろいろな意味があります。

### かくにん い み 確認の意味

- 確かめる
- 利用者の同意をもらう
- 消灯時間やお風呂の温度など、決められていることを調べる
- 介護を行う前に、利用者の状態を見たり、聞いたり、触ったりして調べる

●確認することは、利用者の安全のために大切なことです。

●確認する内容がわからないときは、職員に聞きましょう。

## 2 りようしゃ利用者とのコミュニケーション

- かいご介護をする前に、これからどんなかいご介護をするか利用者りようしゃに説明して、かいご介護を始めることに同意どういしてもらいます。



- かいご介護職から声こえをかけて、利用者りようしゃの状態じょうたいを確認かくにんします。

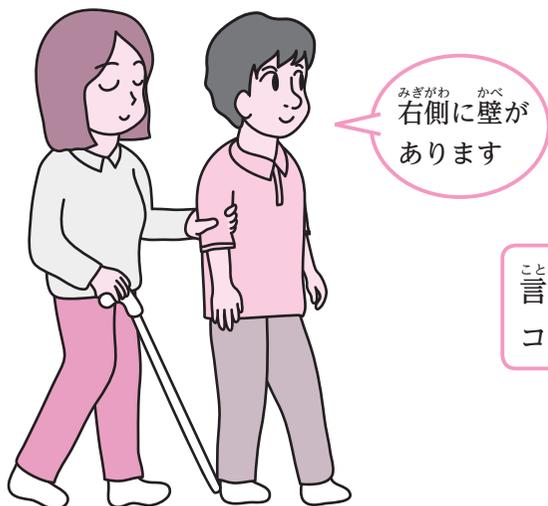


### ことば言葉のいみ意味

どうい【同意】……相手あいての考えかんがに同じ意見おな いけんだと言うこと

● <sup>かいごしょく</sup>介護職は、<sup>りようしゃ</sup>利用者の<sup>じょうたい</sup>状態に<sup>あ</sup>合ったコミュニケーションをします。

<sup>しかくしょうがい</sup>視覚障害のある<sup>りようしゃ</sup>利用者



<sup>ことば</sup>言葉で<sup>せつめい</sup>説明したり、さわってもらったりして、コミュニケーションをする

<sup>ちょうかくしょうがい</sup>聴覚障害のある<sup>りようしゃ</sup>利用者



<sup>しゅわ</sup>手話、<sup>ひつだん</sup>筆談、ジェスチャーなどでコミュニケーションをする

<sup>ことば</sup>言葉の<sup>いみ</sup>意味

<sup>しゅわ</sup>【手話】……<sup>て</sup>手を使って<sup>つか</sup>する<sup>かいわ</sup>会話

<sup>ひつだん</sup>【筆談】……<sup>じ</sup>字を書いて<sup>か</sup>する<sup>かいわ</sup>会話

### 3 職員とのコミュニケーション

#### 報告

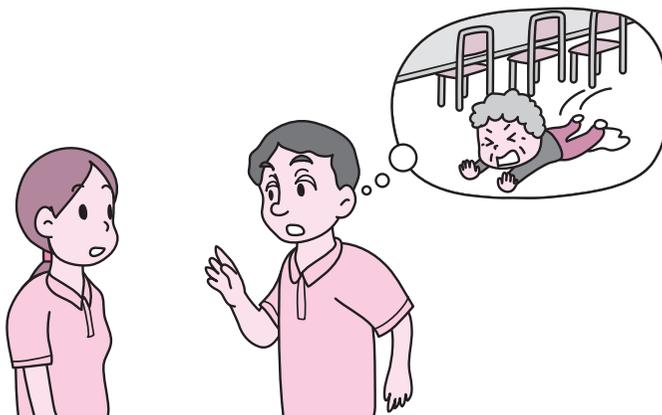
- 報告は、自分がした仕事を、指示した人に伝えることです。
- 事故が起きたときや、事故を見つけたときは、職員にすぐ報告します。

#### 指示された仕事が終わったとき



鈴木さんの着替えの介護  
が終わりました。今日は  
寒いので、セーターを着  
ていただきました

#### 事故が起きたとき



#### 報告の内容

- ・いつ
- ・どこで
- ・だれが
- ・何をした
- ・なぜ
- ・どのように

#### 言葉の意味

【指示する】……「～しなさい」と命令すること

## れんらく 連絡

●連絡は、必要な人に、必要な情報を知らせることでです。

### じょうほう し 情報を知らせる



## そうだん 相談

●わからないことや困ったことがあるときは、一人で悩まないで職員に相談します。

### じぶん そうだん 自分から相談する





Part

2



かいご しごと ひつよう  
介護の仕事に必要な

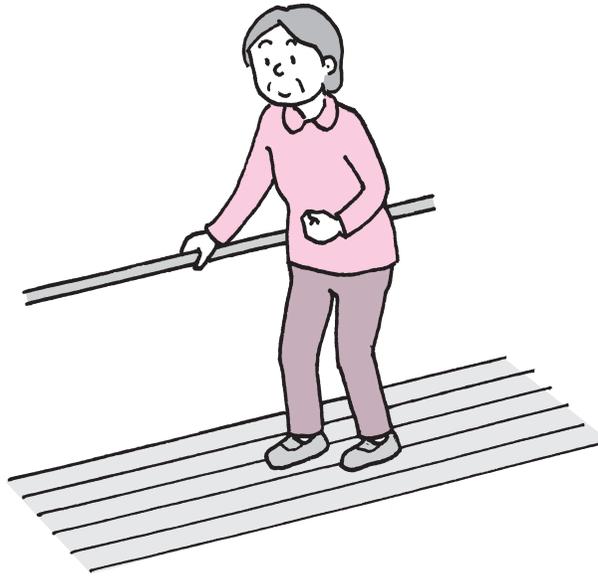
ちしき ぎじゅつ  
知識と技術

# Chapter 1

# い どう かい ご 移動の介護

## い どう い ぎ 移動の意義

しよくじ にゆうよく そうじ せんたく にちじうせいかつ しごと ともだち あ わたし  
食事、入浴、掃除、洗濯などの日常生活、仕事をする、友達と会うなど、私  
たちは自分の体を移動させて、生活しています。社会生活に、移動は必要です。  
ひと うご きんりよく よわ た せいかつ むずか  
人は動かないでいると、筋力が弱くなって、立つことが難しくなります。ベ  
ッドで寝ている生活が続くときにも、姿勢を変えて体を移動させると、体力の  
ていか ふせ  
低下を防ぐことができます。



### ことば い み 言葉の意味

【意義】……言葉が表す意味、価値

【価値】……どのくらい大切か、どのくらい役に立つか

【筋力】……筋肉の力

【姿勢】……体の形

【低下】……弱くなること

【防ぐ】……ならないようにすること

# 1 移動の介護に必要な知識

## 移動をする環境

てんととう  
転倒しないよう  
いりぐち だんさ  
に入口の段差に  
ちゅうい  
注意します

きょしつ  
居室

てすり

トイレ

よくしつ  
浴室

いすやテーブルに  
ぶつからないよう  
ちゅうい  
に注意します

しょくどう  
食堂

ひきど

くるま かべ  
車いすが壁にぶつか  
らないように注意し  
ます

エレベーター

かいだん  
階段

### 言葉の意味

てんととう ころ からだ いちぶ ゆか  
【転倒】……転んで、体の一部が床につくこと

# 移動で使う道具

## くるま 車いす

ブレーキ  
のききを  
かくにん  
確認する

タイヤの  
くうきあつ  
空気圧を  
かくにん  
確認する

ブレーキ  
のききを  
かくにん  
確認する

かいじょ  
介助  
ブレーキ

タイヤ (駆動輪)

ちゆうしゃ  
駐車ブレーキ

ハンドリム

ティッピングバー

キャスタ

グリップ

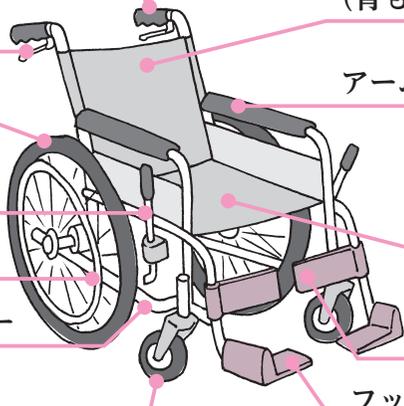
バックサポート  
(背もたれ)

アームサポート

シート

レッグ  
サポート

フットサポート



ゆるんで  
いないか  
かくにん  
確認する

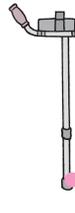
## ほこうしえんきぐ 歩行支援器具

しつえ  
T字杖

たてんつえ  
多点杖

ほこうき  
歩行器

たんかしそうく  
短下肢装具



プラットホーム杖

ろふstrand杖

## ベッド

マットレス

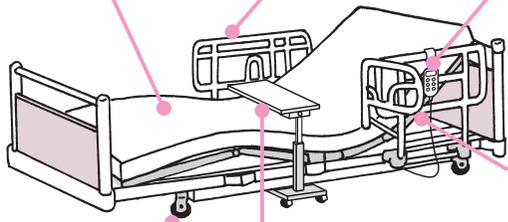
サイドレール

リモコン

かいじょ  
介助バー

キャスタ (ブレーキ)

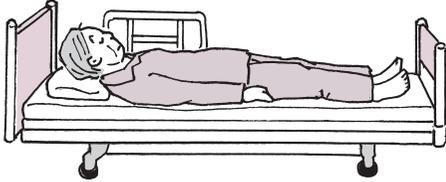
オーバーベッドテーブル



## 2 い どう かい ご なが 移動の介護の流れ

### ぎょう が い た あ 仰臥位からの立ち上がり

#### ぎょう が い 仰臥位



ベッドに寝て、あおむけの姿勢



かんそく (まひ) いた  
患側 (麻痺や痛  
みがある部分)

ぎょう が い そく が い  
仰臥位→側臥位  
・利用者の肩と腰を支え、  
体の向きを変えます。

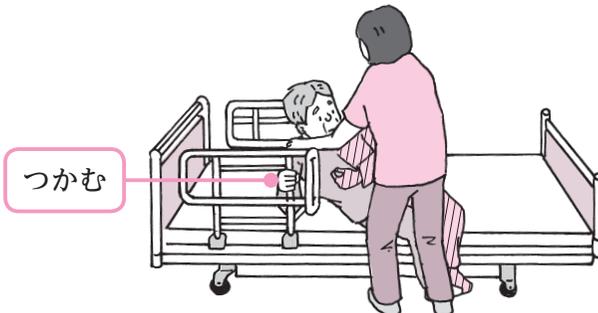
#### そく が い 側臥位



からだ あんてい かつち  
体が安定する形

ベッドに寝て、横を向いた姿勢

クッションやタオルを使用すると、側臥位が安定します。



つかむ

そく が い たんざい  
側臥位→端座位  
・利用者にサイドレールを  
つかんでもらいます。  
・利用者を支え、起き上  
りを介護します。

## たんざい 端座位

ベッドの端に  
すわ  
座る姿勢

あし うら ゆか  
足の裏を床に  
つけます。



サイドレールやベッドに手  
を置いてもらうと端座位が  
安定します。

## たちあがり



端座位→たちあがり  
利用者に介助バーをつかんで  
もらいます。

## 自分で歩くとき

### りつい 立位



立位は不安定な  
で、利用者の姿勢  
を安定させます。

### て 手すりを使った歩行



### つえ 杖歩行



転倒しないように  
患側から利用者を  
見守ります。

## 言葉の意味

【見守る】……危なくないように気をつけること

## くるま つか 車いすを使うとき

### くるま いじょう 車いすへの移乗



りようしゃ あし  
利用者の足を  
フットサポー  
トのうえに乗せ  
ます。

りようしゃ て  
利用者の手を  
アームサポー  
トのうえに乗せ  
ます。

### くるま そうこう 車いすの走行



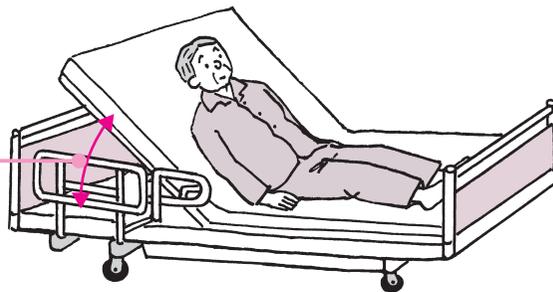
かべ  
壁にぶつから  
ないように移  
動します。

と  
止まっている  
ときは、車い  
すのブレーキ  
をかけます。

## あんせい ひつよう 安静が必要なとき

### はんざい 半座位

お  
45° 起こす



じょうはんしん お  
上半身を45° 起こして  
すわ しせい  
座る姿勢

### ことば いみ 言葉の意味

なが  
【流れ】…… じゆんじよ  
順序のこと

ととの  
【整える】…… きちんとすること

# Chapter 2

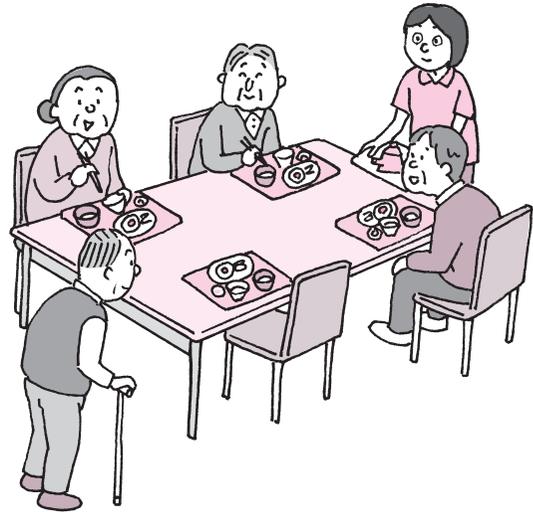
## しよくじ かいご 食事の介護

### しよくじ いぎ 食事の意義

しよくじ えいよう  
食事は栄養のあるものを食べて、  
けんこう たも  
健康を保つことが目的です。

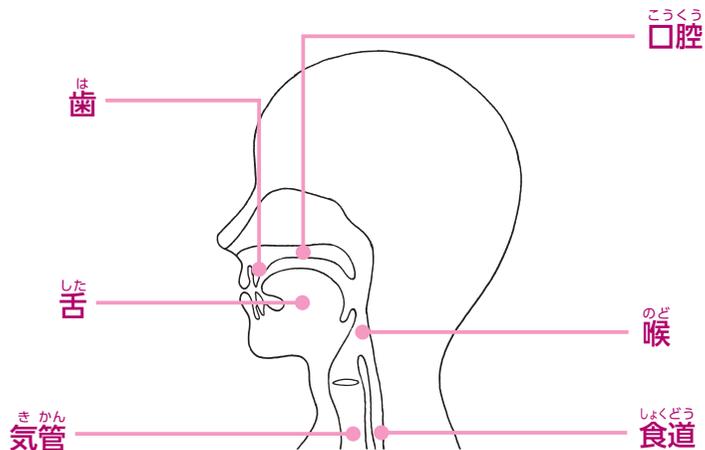
しよくじ たの せいかつ  
食事を「楽しむ」ことで、生活も  
たの せいかつ  
楽しくなります。食事は他の人と  
いっしょに「楽しむ」ことができ、  
たいせつ  
大切なコミュニケーションの場所にも  
なります。

き じ かん しよくじ  
決まった時間に食事をするので、  
いちにち せいかつ じ かん ととの  
一日の生活時間を整えることもでき  
ます。



### 1 しよくじ かいご ひつよう ちしき 食事の介護で必要な知識

しよくじ かんけい からだ  
食事に関する体

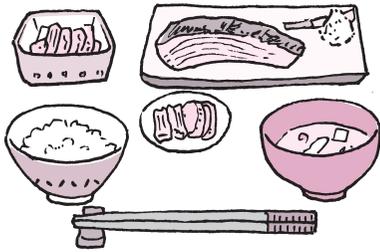


#### ことば いみ 言葉の意味

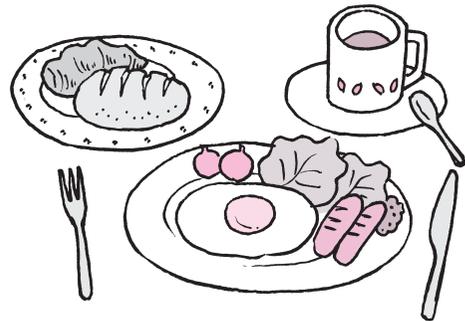
たも おな じょうたい  
【保つ】……同じ状態にしておくこと

しよくじ しゆるい  
**食事の種類**

はん ちゆうしん しよくじ  
**ご飯が中心の食事**



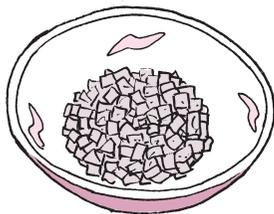
ちゆうしん しよくじ  
**パンが中心の食事**



めん ちゆうしん しよくじ  
**麺が中心の食事**

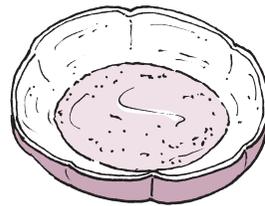


きざ しよく  
**刻み食**



おお た もの  
 大きい食べ物を  
 小さいきざ  
 小さく刻む。

しよく  
**ミキサー食**



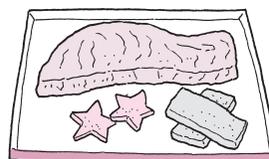
た もの  
 食べ物をミキ  
 サーでやわら  
 かくする。

しよく  
**とろみ食**



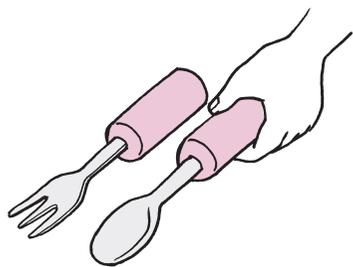
た もの  
 食べ物にとろみ  
 をつける。

しよく  
**ソフト食**

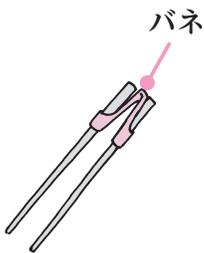


やわらかく、  
 いろ かつ  
 色や形のある  
 た もの  
 食べ物。

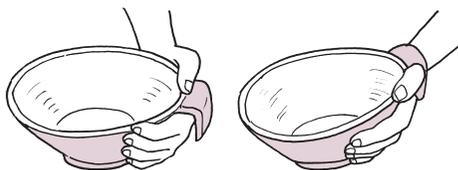
しょくじ つか どうぐ  
**食事で使う道具**



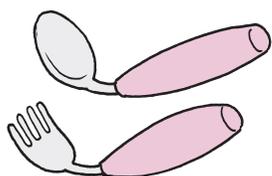
にぎりやすくした  
 スプーン・フォーク



バネ  
 ばね付き固定箸

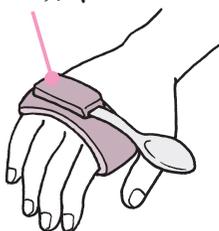


にぎりやすい食器



まがりスプーン・フォーク

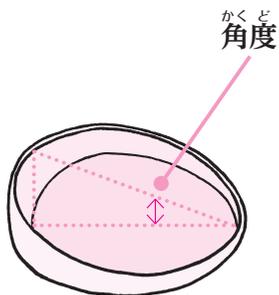
カフベルト



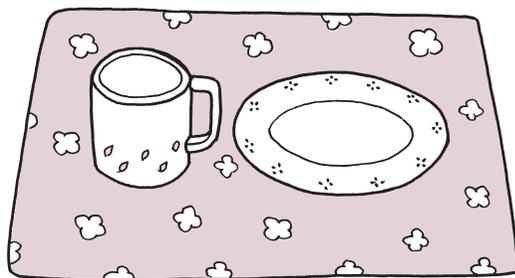
カフベルト付き  
 スプーンホルダー



ホルダー付きコップ



かくど  
 角度をつけて食べやすくしたお皿



すべり止めマット

## 2 食事の介護の流れ

食事の準備から利用者が食べ終わるまで

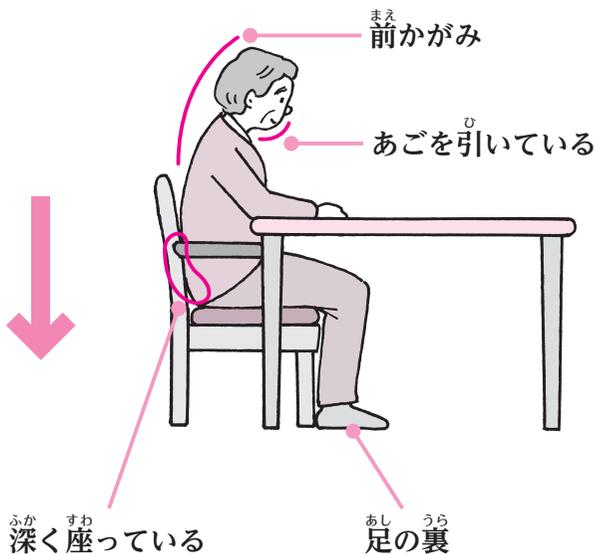
### 食事を準備する



誤嚥しないように、食べやすい食事を作りま

利用者が嫌いなもの、食べてはいけないものがないかを確認します。

### いすに座った姿勢を確認する



食事の前に、トイレに行って、手洗いを済ませます。

いすに深く座り、足の裏が床につくようにします。

### 言葉の意味

【誤嚥】……飲み込むとき、食べ物や飲み物が気管に入ること。このとき、むせが起きる。

【むせ】……気管に食べ物などが入って苦しむこと

【済む】……し終わること

しょくじ かいご はじ  
食事の介護を始める



りようしゃ た べたい じゅんばん かく  
利用者が食べたい順番を確認  
します。

りようしゃ がおいしく べられ  
るように 声 をかけます。



りようしゃ た べやすい せいせい  
利用者が食べやすい姿勢に  
なっているかを確認しま  
す。

ごえん しないように、の 飲み  
誤嚥しないように、飲  
んだことを確認します。

くち なか た のもの  
口の中に食べ物があるとき  
に、声 をかけないようにし  
ます。

しょくじ かいご お  
食事の介護を終える



くち なか た のこ  
口の中に、食べ残しがない  
かを確認します。

## こうくう 口腔ケア

### はみが 歯磨き



しょくじ あと くち なか  
食事をした後に、口の中を  
せいけつ かいご  
清潔にする介護をします。

は は あいだ よご  
歯と歯の間は汚れやすいの  
ちゆうい  
で注意します。

### い ば ぎし てい 入れ歯 (義歯) の手入れ



そうい ば  
総入れ歯



ぶふんい ば  
部分入れ歯

しょくじ あと  
食事をした後に、  
い ば あら よう  
入れ歯を洗い、容  
き ぼ かん  
器に保管します。

### ことば いみ 言葉の意味

ようき いもの  
【容器】……入れ物

ほかん  
【保管】……しまっておくこと

# Chapter 3

## はいせつ かいご 排泄の介護

### はいせつ いぎ 排泄の意義

はいせつ は、生きるために必要な水や食べ物ひつよう みず た ものを体の中からだ なかに入れたあと、不要ふようなものを体からだの外そとに出だすことです。排泄物はいせつぶつには、便べん、尿にょう、汗あせなどがあります。

はいせつ 排泄はいせつがうまくできないと、生きることが難しくむづかなります。失禁しっきんなど排泄はいせつが自立りつできなくなると、自信じしんを失なくしてしまいます。うまく排泄はいせつができるためには、生活せいかつのリズム、習慣しゅうかんにああった排泄はいせつのやり方かたが必要ひつようです。



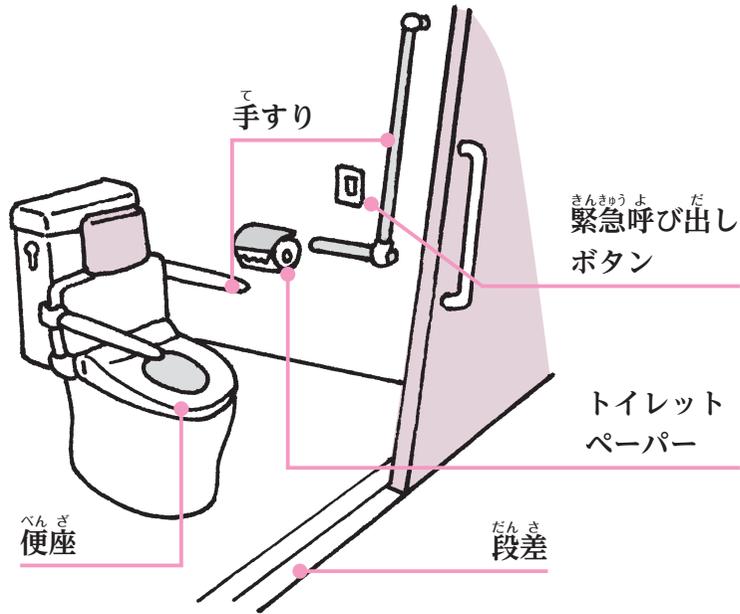
### ことば いみ 言葉の意味

ふよう …… 必要ひつようではないこと

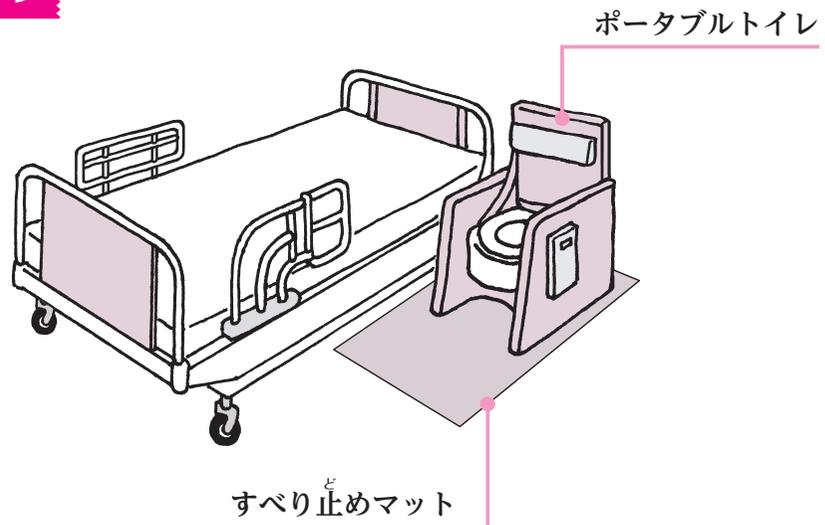
# 1 はいせつ かいご ひつよう ちしき 排泄の介護で必要な知識

## はいせつ かんきょう 排泄をする環境

### トイレ



### ポータブルトイレ



# 排泄で使う道具

## ポータブルトイレ

便座に座ることができる人が使います。



木製のいす型



プラスチック製

## 尿器・便器

座位が安定しない人がベッドの上で使います。



女性用尿器



男性用尿器



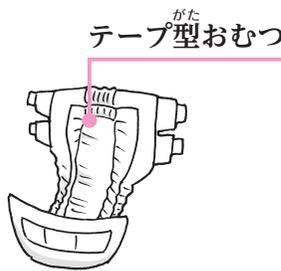
差し込み便器

## おむつ

自分で排泄の調節ができない人が使います。



紙おむつ



テープ型おむつ



女性用パッド



男性用パッド

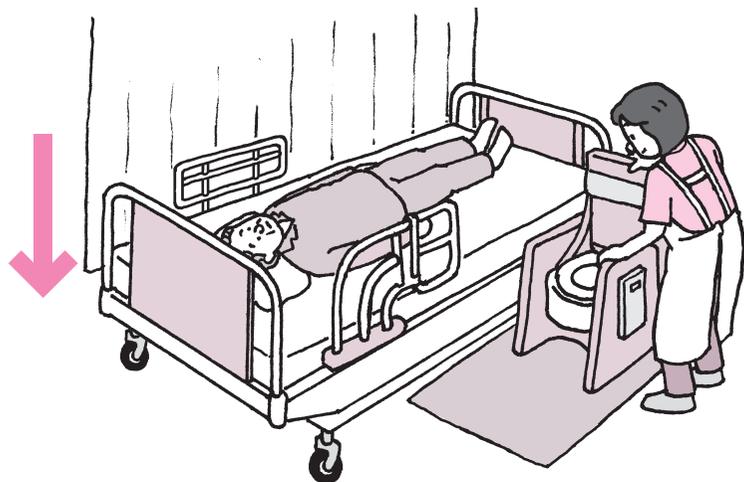
## 言葉の意味

[安定]……変化がなくて安心できること

## 2 はいせつ かいご なが 排泄の介護の流れ

### ポータブルトイレをつか かいご はいせつ かいご った排泄の介護

#### かいご じゅんび 介護の準備をする

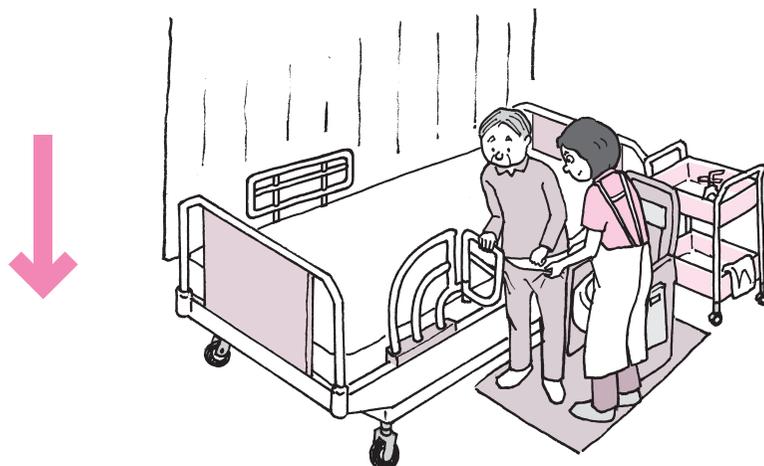


つか す  
使い捨てエプロンをつけます。

ポータブルトイレをけんそく あしもと お健側の足元に置きます。

かん き  
換気をして、においが  
ないようにします。

#### したぎ さ ズボンと下着を下げる



りようしゃ てんとう  
利用者が転倒しない  
ように注意して、立  
ち上がりのかいご  
をします。

#### ことば いみ 言葉の意味

つか す  
【使い捨て】……一回使ったら捨てること

かん き  
【換気】……空気を入れかえること

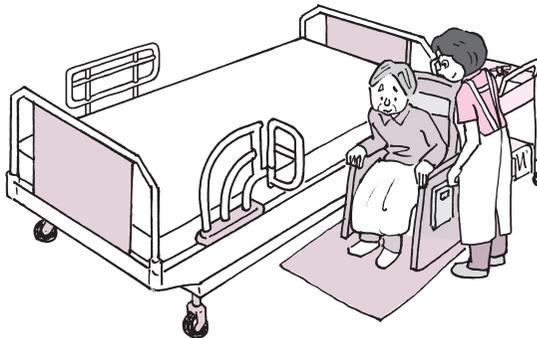
## ポータブルトイレに移乗する<sup>いじょう</sup>



ポータブルトイレの位置を確認し、トイレに座る介護をします。

バスタオルで肌が見えないようにします。

## 排泄してもらおう<sup>はいせつ</sup>



力が入りやすいように、前かがみになってもらいます。

排泄中はトイレから離れます。排泄が終わったら、利用者にご声をかけてもらいます。

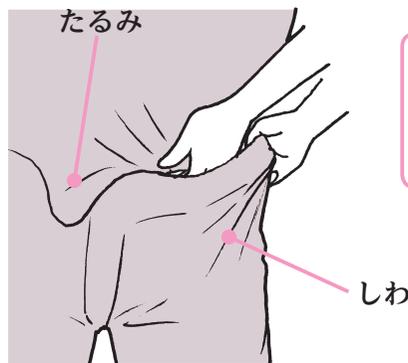
## 陰部をふく<sup>いんぶ</sup>



きちんと排泄できたかを確認します。

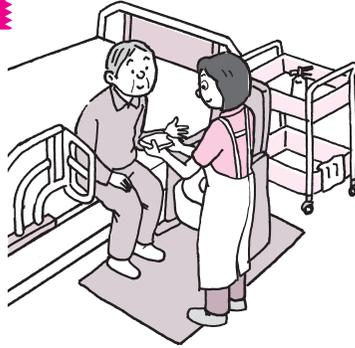
陰部をふいてもらいます。手袋をつけて、利用者ができない部分を介護します。

## ズボンと下着を上げる<sup>したぎあ</sup>



下着や服の、しわ、たるみを整えます。

て  
手をふいてもらう



おしぼりなどで手<sup>て</sup>を清<sup>せい</sup>けつ  
潔<sup>けつ</sup>にしてもらいます。

りようしゃ たいちよう かくにん  
利用者の体調を確認し  
ます。

はいせつぶつ かんさつ  
排泄物を観察する  
はいせつぶつ  
排泄物を捨てる



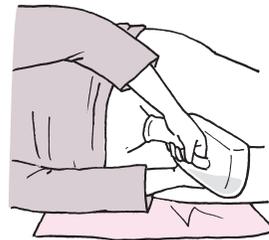
はいせつぶつ いろ かたち りよう  
排泄物の色、形、量など  
かくにん  
を確認します。

## ベッドで行う排泄の介護

によう き つか はいせつ  
尿器を使って排泄する



じよせい ばあい  
女性の場合



だんせい ばあい  
男性の場合

さ こ べんき つか はいせつ  
差し込み便器を使って排泄する



つか はいせつ  
おむつを使って排泄する



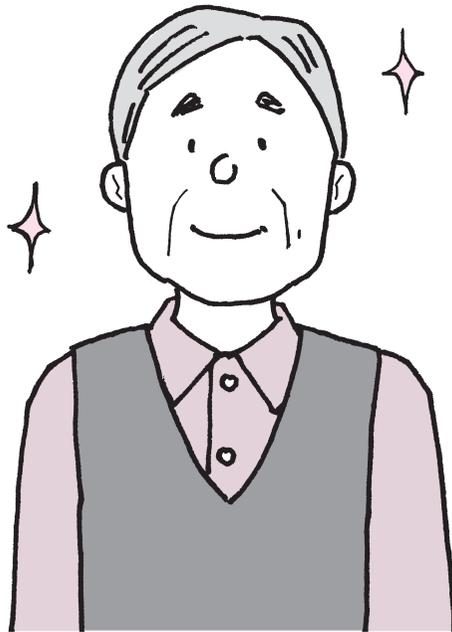
い ふく ちやくだつ  
衣服の着脱

み (身じたく) の かいご 介護

み いぎ  
身じたくの意義

あさ お かも 顔を洗い、は みが 歯を磨き、じょせい けしょう 女性ならお化粧をし、だんせい 男性ならひげをそり、  
もくてき あ ふく き が み 目的に合わせて服を着替えます。身じたくは、にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ  
日常生活や社会生活のいろいろ  
かつどう ための じゅんび かんが 活動をするための準備と考えるてもよいでしょう。

よご かも ふく ほか ひと いや きも 汚れた髪や服は他の人を嫌な気持ちにします。きちんと身じたくすることで、  
じしん しゃかい さんか 自信をもって、社会に参加することができるようになります。



# 1 <sup>み</sup>身じたくの<sup>かいご</sup>介護で<sup>ひつよう</sup>必要な<sup>ちしき</sup>知識

## <sup>み</sup>身じたくの<sup>かいご</sup>介護の<sup>しゅるい</sup>種類

### <sup>いふく</sup> <sup>ちやくだつ</sup> 衣服の着脱



<sup>あさお</sup>朝起きたときや<sup>よるね</sup>夜寝るときに、  
<sup>いふく</sup>衣服を<sup>えら</sup>選ぶ、<sup>き</sup>着る、<sup>ぬ</sup>脱ぐ<sup>かいご</sup>介護を  
します。

### <sup>せいよう</sup> 整容



<sup>せんめん</sup>  
**洗面**  
<sup>あさお</sup>朝起きたときに<sup>かお</sup>顔を  
<sup>あら</sup>洗う<sup>かいご</sup>介護をします。



<sup>せいはつ</sup>  
**整髪**  
<sup>あさお</sup>朝起きたときや<sup>にゅうよく</sup>入浴した<sup>あと</sup>後に、  
<sup>かみ</sup>髪の毛を<sup>け</sup>整える<sup>かいご</sup>介護をします。



<sup>かお</sup> <sup>せいしき</sup>  
**顔の清拭**  
<sup>かお</sup>顔を<sup>ホット</sup>ホットタオルで  
<sup>ふく</sup>ふく<sup>かいご</sup>介護をします。

つめき  
爪切り



て ゆび あし ゆび つめ の  
手の指と足の指の爪が伸び  
たときは、爪切りをします。

てい  
ひげの手入れ



シェーバー

だんせい  
男性には、あさお  
朝起きたときに  
ひげの手入れをします。

けしょう  
化粧



けしょう  
化粧をする習慣のある女性  
には、できるだけけしょう  
化粧をしてもらいます。

# い ぶく ちやくだつ 衣服の着脱

## きが 着替えのタイミング



あさお  
朝起きるとき



よるね  
夜寝るとき

パジャマや<sup>したぎ</sup>下着を着  
替えます。

シャツ、ズボンなど  
を着替え、<sup>くつ</sup>下を  
はきます。

そとで  
外へ出かけ  
るとき



<sup>うわぎ</sup>上着を着替え、<sup>くつ</sup>靴を  
はきます。

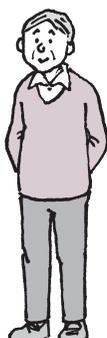
## にほん きせつ あ いぶく 日本の季節に合わせた衣服



はる  
春



なつ  
夏



あき  
秋



ふゆ  
冬

なつ あつ あせ  
夏は暑く、汗をかき  
やすい季節です。

ふゆ さむ かんそう  
冬は寒く、乾燥する  
季節です。

## ことば いみ 言葉の意味

かんそう すいぶん かわ じょうたい  
【乾燥】……水分がなくて、乾いている状態

## 2 衣服の着脱の流れ

### 右片麻痺のある利用者の介護

#### 衣服を選ぶ

きょう 今日どの服に  
しますか？

シャツに  
しようかな



かんそく 患側（麻痺  
や痛みがあ  
る方）

利用者の好みに合わせて、  
衣服を選んでもらいます。

利用者が衣服を選べないと  
きは、季節や部屋の温度に  
合わせましょう。

#### いすに座る



深く座る

転倒しないように、いすや  
ベッドに深く座ってもらい  
ます。

足の裏が床についているか  
確認します。

#### 上着の着脱の介護



患側から着る



健側（麻痺や痛みが  
ない方）から脱ぐ

他の人からできるだけ肌  
が見えないようにします。

衣服は患側から着て、健側  
から脱いでもらいます。で  
きるところは見守り、でき  
ないところは介護します。

## ズボンの着脱の介護



患側からはく



健側から脱ぐ

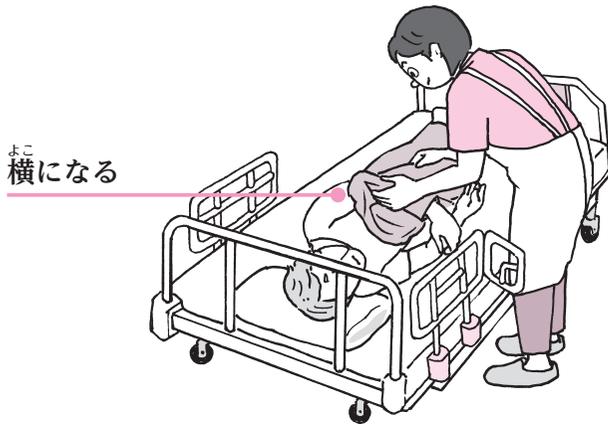
ほか ひと ほか  
他の人からできるだけ肌が見えないようにします。

い ふく かんそく き けんそく  
衣服は患側から着て、健側から脱いでもらいます。できるところは見守り、できないところは介護します。

さいご い ふく ととの  
最後に、衣服のしわを整えます。

## 利用者が立ち上がったり、座ったりできないとき

### ベッド上での着脱



よこ横になる

けんそく した よこ  
健側を下にして横になってもらいます。

ほか ひと ほか  
他の人からできるだけ肌が見えないようにします。

# Chapter 5

# にゅうよく しんたい せいけつ 入浴・身体の清潔の かいご 介護

## にゅうよく いぎ 入浴の意義

にゅうよく せいしき からだ せいけつ じょうたい  
入浴や清拭は、体を清潔な状態にします。

からだ せいけつ きぶん もよくなりま す。 からだ せいけつ み ととの  
体が清潔だと気分もよくなります。体が清潔で身だしなみが整っていると、  
あんしん ほか ひと かつどう かんせんしょう よほう  
安心して他の人と一しょに活動することができます。また、感染症の予防、  
けっこう けっこう あんみん こうか  
血行をよくする、安眠などにも効果があります。



## ことば いみ 言葉の意味

【整っている】……きちんとしている様子

【予防】……ならないようにすること

【血行】……血液の流れ

【安眠】……よく眠ること

【効果がある】……やくに立つ

# 1 入浴の介護で知っておく知識

## 入浴の環境

入浴後は、浴室と脱衣室を換気します。

浴室と脱衣室の温度を同じにします。

浴室と脱衣室の段差で転倒しないように注意します。

段差

床がぬれているので、転倒しないように注意します。

浴そうの湯の温度が高いと(42℃以上)危険です。

緊急呼び出しボタン

ゆか床

手すり

深さ

浴そう

## 入浴の介護で使う道具

シャワーチェア

からだを洗うときに座る

バスボード

浴そうに入るときに使う

浴そうの中で座る

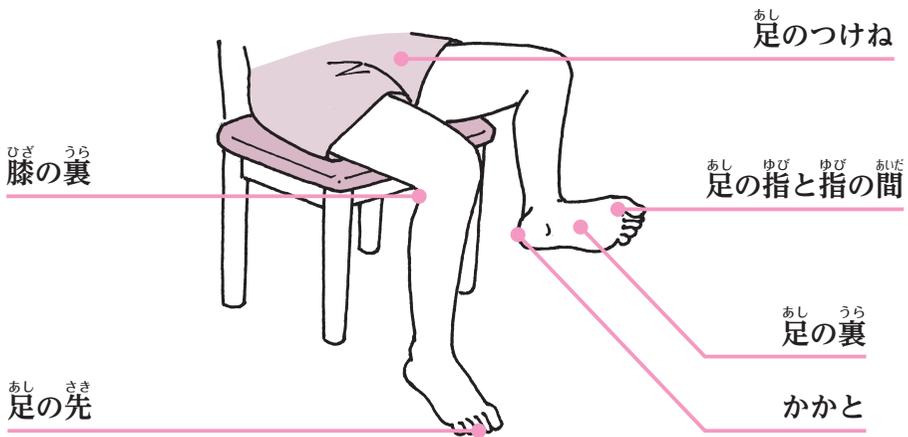
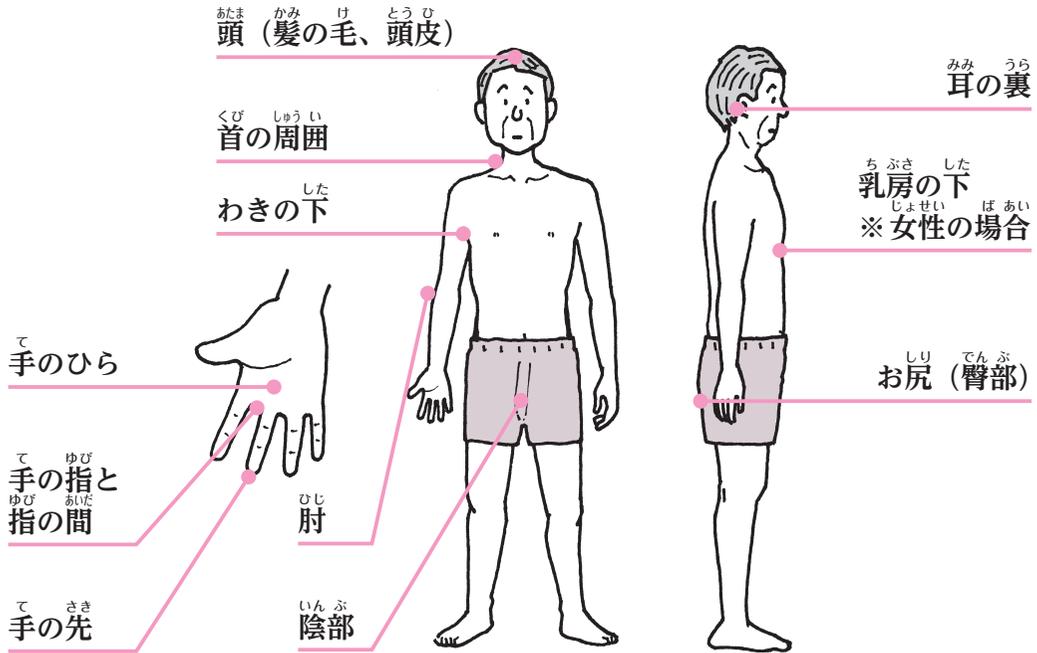
浴そう内いす

浴そう用手すり

浴そうに入るときに、手でつかむ

にゅうよく かんけい からだ  
**入浴に関する体**

よご からだ ぶ ぶん  
**汚れやすい体の部分**



## 2 入浴の介護の流れ

### 脱衣室で行う介護

#### 衣服の着脱（入浴前・入浴後）

衣服は、健側（麻痺や痛みがない方）から脱いでもらいます。

衣服は、患側（麻痺や痛みがある方）から着てもらいます。

肌の露出に注意して、プライバシーを守ります。

### 浴室で行う介護

#### 体にシャワーをかける



はじめに、介護職が湯の温度を確認します。

利用者の手の先で、湯の温度を確認し、足の先から湯をかけます。

#### 体を洗う



自分で洗えないところは、介護職が洗います。

汚れやすい部分は残さず洗います。

#### 言葉の意味

【露出】……隠れないで、はっきり見えること

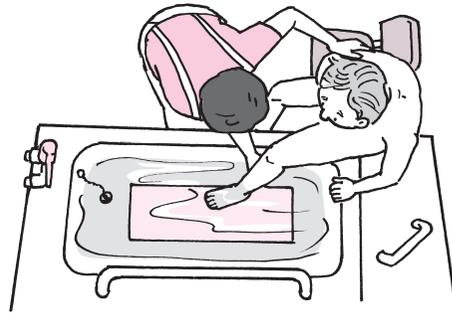
とうひ かみ け あら  
頭皮 (髪) を洗う



ゆび はら あら  
指の腹で洗います。

よく おこな かい ご  
浴そうで行う介護

よく はい よく で  
浴そうに入る、浴そうから出る



けんそく あし よく はい  
健側の足から浴そうに入っ  
てもらいます。

かんそく あし よく で  
患側の足から浴そうを出て  
もらいます。

にゅうよく あと おこな かい ご  
入浴した後に行う介護

かみ け かわ  
ドライヤーで髪の毛を乾かす



ドライヤーの風が熱くない  
かを確認します。

みず の  
水などを飲んでもらう



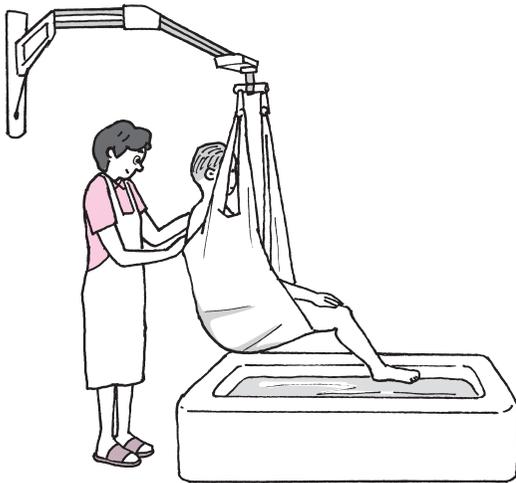
みず ちや の  
水やお茶などを飲んでもら  
い、脱水を予防します。

# よく はい 入浴することができない利用者のかいご

すわ しせい にゅうよく  
座った姿勢で入浴する



つか にゅうよく  
リフトを使って入浴する



ね しせい にゅうよく  
寝た姿勢で入浴する



### 3 入浴以外の体を清潔にする方法

● 病気やけがなどで、入浴ができないとき、入浴以外の方法で利用者の体をきれいにし、気持ちがよくなるようにします。

#### 手浴

湯で手を洗います。



#### 足浴

湯で足を洗います。



#### 清拭

タオルで体をふきます。



#### ドライシャンプー

湯を使わないで汚れをとります。

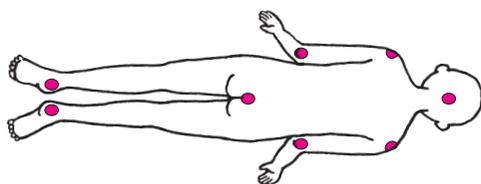
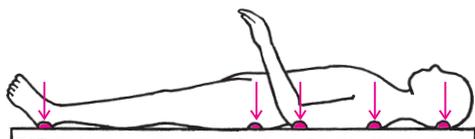


#### 言葉の意味

【以外】……他

## 4 褥瘡の予防

- 褥瘡は、寝たきりなどで、体に力がかかり、血液の流れが悪くなることで皮膚が赤くなったり、傷ができることです。
- 褥瘡は、「床ずれ」とも言います。
- 褥瘡は、できると治りにくいので、つくらないようにします。



力がかかりやすい場所

||

褥瘡ができやすい場所

病気や障害などで、自分で体位が変えられないと、同じところに力がかかります。

長い時間、外から体に力がかかり、血液の流れが悪くなると、褥瘡ができます。

### 褥瘡をつくらないために

入浴や清拭をして、皮膚をきれいにします。



いろいろな栄養がとれる食事をして、体の調子をよくします。



体の同じ場所に、長い時間、力がかからないように、体位を変える介護をします。

# 索引

## あ

あおむけ (仰臥位) 31

あせ 汗 40, 49

あんてい 安定 42

あんみん 安眠 52

いし 医師 5

いしき 意識 12

いじよう 移乗 33

いどう 移動 28

いふく 衣服 47

いりよう 医療 5

いばぎし 入れ歯 (義歯) 39

うがい 7

えいよう 栄養 34, 59

おう吐 7

おむつ 42

おんど 温度 50, 55

## か

かいごしえんせんもんいん 介護支援専門員

(ケアマネジャー) 5

かいごふくしし 介護福祉士 5

かいごじこ 介護事故 6

かくにん 確認 21

かたまひまひ 片麻痺 (麻痺) 14, 31, 50

かてい 過程 4

からだ 体

にんげんからだ 人間の体 10

からだへんか 体の変化 13

しょくじかんけいからだ 食事に関する体 34

にゅうよくかんけいからだ 入浴に関する体 54

かんき 換気 43, 53

かんきよう 環境

いどうかんきよう 移動をする環境 29

はいせつかんきよう 排泄をする環境 41

にゅうよくかんきよう 入浴の環境 53

かんごし 看護師 5

かんせんしょう 感染症 7

かんせんげんしゆるい 感染源の種類 7

かんそう 乾燥 49

かんそく 患側 31

かんりえいようし 管理栄養士 5

きが 着替え 46

きざしょく 刻み食 35

ぎしいば 義歯 (入れ歯) 39

きせつ 季節 49

きぼう 希望 2

きゆうよう 休養 9

ぎようがい 仰臥位 (あおむけ) 31

きょうしんしょう 狭心症 14

まくかしゅつけつ くも膜下出血 14

くるま 車いす 30

ケアマネジャー

かいごしえんせんもんいん (介護支援専門員) 5

けが 16

けしょう 化粧 46, 48

けつあつ 血圧 12

けつえき 血液 7

げり 下痢 7

けんこう 健康 9, 34

けんこうかんり 健康管理 9

げんごしょうがい 言語障害 17

げんごちようかくし 言語聴覚士 5

けんそく 健側 50

こうくう 口腔ケア 39

こうれいしゃ 高齢者 14, 15

ごえん 誤嚥 6, 37

こきゅう 呼吸 12

コミュニケーション 20

## さ

ざい 座位 42

さぎょうりょうほうし 作業療法士 5

ジェスチャー 23

しえん 支援 2, 5, 16

しかくしょうがい 視覚障害 16, 23

じこ 事故 6, 24

しごと 仕事 24

しせい 姿勢 4, 28, 31, 32, 33, 37

したいふじゅう 肢体不自由 16

しっきん 失禁 40

しゅうかん 習慣 40

しゅうへんしょうじょう 周辺症状 19

しゅよく 手浴 58

しゅわ  
手話 23

じゅんび  
準備 46

しょうがい  
障害 16, 17, 18, 23

しょうじょう  
症状 14, 15, 18, 19

じょうたい  
状態 9, 12, 15, 22, 23

じょうほう  
情報 3, 25

しょくじ  
食事 4, 5, 28, 34-39

——のしゅるい  
種類 35

じょくそう  
褥瘡 (床ずれ) 59

しょくどう  
食堂 4, 29

じりつ  
自立 2, 16, 40

じりつしえん  
自立支援 2

しわ 44, 51

しんきんこうそく  
心筋梗塞 14

しんしつかん  
心疾患 14

すいぶん  
水分 15, 49

すいみん  
睡眠 9

せいかつ  
生活 2, 5

せいかつじかん  
生活時間 34

せいけつ  
清潔 39, 45, 52

せいしき  
清拭 47, 52, 58, 59

せいしんしょうがい  
精神障害 17

せいはいつ  
整髪 47

せいよう  
整容 47

せき  
咳 7

せつ  
石けん 8

せつめい  
説明 22, 23

せんたく  
洗濯 28

せんめん  
洗面 47

そうこう  
走行 33

そうじ  
掃除 28

そうだん  
相談 4, 9, 25

そうだんいん  
相談員 5

そくがい  
側臥位 31

そくよく  
足浴 58

ソフト<sup>しょく</sup>食 35

そんげん  
尊厳 2, 3

た

たいい  
体位 59

たいおん  
体温 12

たいちよう  
体調 12, 45

たあ  
立ち上がり 32

だっすい  
脱水 15, 56

たもの  
食べ物 4, 5, 28, 34-39

たるみ 44

だんさ  
段差 29, 41, 53

たんざい  
端座位 31, 32

ちてきしょうがい  
知的障害 17

ちのう  
知能 17

ちやくだつ  
着脱 47, 49-51

ちゅうかくしょうじょう  
中核症状 18

ちょうかくしょうがい  
聴覚障害 17, 23

ちょうりし  
調理師 5

つえほこう  
杖歩行 32

つかす  
使い捨て 7, 43

つめき  
爪切り 48

て  
手すり 29, 32, 41, 53

てあらかた  
手の洗い方 8

てぶくろ  
手袋 7, 44

てんとう  
転倒 6, 29

てんらく  
転落 6

トイレ 41

どうい  
同意 22

どうぐ  
道具

いどうつかどうぐ  
移動で使う道具 30

しょくじつかどうぐ  
食事で使う道具 36

はいせつつかどうぐ  
排泄で使う道具 42

にゅうよくかいか  
入浴の介護で使う  
道具 53

とこしょくそう  
床ずれ (褥瘡) 59

とろみ<sup>しょく</sup>食 35

な

にゅうよく  
入浴 28, 52-57

にょう  
尿 7, 15, 40

にんちしょう  
認知症 18

は

はいえん  
肺炎 14

はいせつ  
排泄 40-45

バイタルサイン 12

はつねつ  
発熱 7

べん  
便 7, 15, 40

へんか  
変化 13

べんび  
便秘 15, 40

ふくしょうぐ  
福祉用具 9

プライバシー 3

ベッド 30

ほうこく  
報告 6, 24

ほかん  
保管 39

ほこう  
歩行 32

——のしえんきぐ  
支援器具 30

ポータブルトイレ 41, 42

ボディメカニクス 9

ま

まえ  
前かがみ 37, 44

ま ひ かたま ひ  
麻痺 (片麻痺) 14, 31, 50

まんせい か  
慢性化 14

しよく  
ミキサー食 35

み  
身じたく 46, 47

み  
身だしなみ 52

みまも  
見守り 32, 50, 51

みやくはく  
脈拍 12

めまい 15

や

やけど 6

ようつう  
腰痛 9

よぼう  
予防 6, 7, 52, 59

ら

りがくりょうほうし  
理学療法士 5

りつい  
立位 32

リハビリテーション 5

りようしゃしゆたい  
利用者主体 2,

れんらく  
連絡 25

ろうか  
老化 13, 14



この教材は、平成29年度 厚生労働省 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金  
(社会福祉推進事業分) の一環として作成されたものです。

## 技能実習制度(介護職種) 入国後講習用教材

平成30年1月発行

一般社団法人シルバーサービス振興会

〒105-0003

東京都港区西新橋3-25-33 NP御成門ビル6階

TEL 03-5402-4880 FAX 03-5402-4884